

- ◎ 聖日礼拝を共に守りましょう。
- ◎ 日ごと聖書に聞き、祈りましょう。
- ◎ 家族・地域に福音を届けましょう。
- ◎ 平和を創り出すために働きましょう。



受付
司会
献金
奏楽

礼拝当番は
礼拝堂に集まった人の中で
可能な方に担当いただきます。

前
招
言
説
説
説
説
説
祝
後

本日の礼拝は、
日本基督教団「礼拝式文」試行版
を用います。

別紙に印刷いたしますから、
週報別冊と共に、
どうぞ、ご覧ください。

*当教会では 着席のまま礼拝を守っています。
*旧約聖書は前半(P.1502まで)、新約聖書はその後ろです。
*献金の額はいくらでも結構です。持ち合わせがないときは次の機会に。

∞〇∞〇∞〇∞〇∞ お知らせ ∞〇∞〇∞〇∞〇∞

本日10時半の礼拝も、「暑さ対策」の緊急措置として、
会場を園舎1階「のあ」に変更し、「試行版」の礼拝式文を用いました。
次週以降、どのようにするか、今日の様子を見て、また決めたいと思います。

∞∞∞∞∞∞ 今週の集会 ∞∞∞∞∞∞

- ☆「御言葉と祈りの時」 8月20日(水)19:30～ オンライン併用
- ☆「荊冠の神学」読書会 8月21日(木)10:00～ オンライン併用

∞∞∞ 次週の予告(8/24) ∞∞∞

☆主日礼拝(お話:川上直哉 牧師)

[聖 書]	マルコ伝12章28～34節
[お 話]	「聖書の要諦」
この日の10時半からの礼拝も「暑さ対策」として、園舎1階を検討しています。	
受 付	礼拝当番は礼拝堂に集まった人の中で 可能な方に担当いただきます。
奏 楽	

∞〇∞〇∞〇∞〇 お知らせ ∞〇∞〇∞〇∞〇

❖今後の予定は以下の通りです

- ・8月25～26日(月・火) 同信伝道会神学協議会(京都にて)
- ・9月10日(水) 東京で佐山さんたちと聖餐式
- ・9月14日(日) 礼拝堂で聖餐式
- ・9月28日(日) 日本基督教団石巻山城町教会 牧師就任式
- ・10月5日(日) 日本基督教団柴宿教会 礼拝担当
- ・10月12日(日) 日本基督教団涌谷教会 礼拝担当

《 先週の集会統計 》

聖日礼拝	11人	み言葉と祈りの会	4人
早朝礼拝	3人	聖餐式	-
月 定 献 金		特 別 献 金	
		松尾京子・石井龍子(以上、夏期献金)	
席上献金	¥9,500		

週報別冊

2025年8月17日号

1. 教会宛に、以下の通信が届いています。

【日本基督教団石巻栄光教会関係】

- 「お礼状」（日本基督教団会津若松教会）：「この度は就任式にお越しくださり、お祝いのメッセージ・・・等をいただき、ありがとうございました。今後もお働きが祝されますように」と、7月13日に就任式を終えられた川上純平先生から、お礼のお言葉を賜りました。
- 「ご案内」（世界食料デー仙台大会）：川上牧師、中澤宣教師、渡邊さんが委員をしている団体の通信です。10月18日（土）午後1時半から、エマオにて、「路上生活者支援」を教会の働きの中核に据えている阿見高洋牧師を講師に、催事が行われまことの連絡を頂きました。

【日本基督教団・東北教区関係】

- 「共助」（基督共助会）：日本基督教団浪江伝道所・小高伝道所の飯島信牧師が参加されている団体の機関誌です。その中に、「浪江・小高伝道所を覚え、祈る会への呼びかけ」と、「小高教会幼稚園」園舎を活用した「小高町歴史郷土資料室」を「赴任して来た牧師さんと卒園生たちが」設立したことを告げるパンフレットをお送りいただきました。

【その他教会・団体関係】

- 「2025年度碑前祭開催のお知らせ」（布施辰治を顕彰する会）：「石巻出身の弁護士布施辰治の功績を顕彰することを目的」として、祭典と講演会を、9月13日（土）午後市内で行う旨の連絡を頂きました。

2. 牧師動静

8月11日（月）

午前中、一件の訪問をしました。

8月12日（火）

午前中、宮城刑務所で教誨活動をし、午後、世界食料デー仙台大会の発送作業を日本ナザレン教団仙台富沢教会で行いました。

8月13日（水）

午前中、休暇を頂き、午後、十三浜でクリシタン読書会を主宰し、夜、祈祷会を主宰しました。

8月14日（木）

終日、休暇を頂きました。

8月15日（金）

午前中、ワイズメンズクラブ全国大会のための会議のために利府に行き、午後、休暇を頂きました。

8月16日（土）

終日、休暇を頂きました。

- 先週日曜日、カトリック元寺小路教会で行われた平和祈祷集会は、約90名の参加者を得て、盛会に終わりました。石巻市内に共に住まれるムスリムの方々との平和を求めて祈る、良い時となりました。皆様のお祈りに、感謝いたします。

8月18日（月）

終日、クリシタンツアーをしています。

8月19日（火）

日中、郡山市で東北ヘルプの取材をしています。

8月20日（水）

日中、消防署の対応をしています。夕方、東北ヘルプ理事会をオンラインで主宰します。夜、祈祷会を主宰します。

8月21日（木）

午前中、訪問して読書会と聖餐式をし、午後、オンランで福島県キリスト教連絡会の「放射能問題学習会」にオンラインで参加し、夕方、石巻専修大学で「ムスリムとの多文化共生の会議」を行い、夜、オンラインで読書会に参加します。

2025年度布施辰治碑前祭企画のお知らせ

2025年 9月13日 土曜日
(令和7年) (布施辰治命日)



石巻出身の人権派弁護士
布施辰治の法服姿

生きようんば民衆と共に
死すようんば民衆のために

講演

講師 成田 暢 (ミツル)

元石巻市教育委員会
博物館準備委員

演題

『奥の入会紀行』

について

碑前祭

9月13日(土) 午後1時

石巻市・蛇田あけぼの南公園

ごあいさつ

- ◆ 在仙台韓国領事館領事
- ◆ 宮城県、石巻市の代表
- ◆ 治安維持法国賠同盟会長
- ◆ 布施家のご遺族、他

※碑前祭終了後、向陽地区コミュニティセンターへ移動をお願いします。

主催 布施辰治を顕彰する会(会長・松浦健太郎)

連絡先：090-8928-1362 (三條信幸)

8月22日(金)

日中、新生園を訪問し、夜、ワイズメンズクラブの例会に出席します。

8月23日(土)

終日、宮床へのキリシタンツアーをしています。

※牧師と面会をご希望される方は、どうぞ、ご遠慮なく教会のメール宛、ご連絡ください。上記日程を調整して、お会いしたく存じます。

救いの岩に向かって喜びの叫びをあげよう。
御前に進み、感謝をささげ

樂の音に合わせて喜びの叫びをあげよう。

主は大いなる神

すべての神を超えて大いなる王。

(詩編 95 : 1-3)

賛美

(起立)

会衆は主の招きに応え、賛美において一つとされる。礼拝の開始にふさわしい賛美歌を選ぶ。招き〔讚美歌 21〕1-6、讚美・感謝〔同 7-21〕、詩編〔同 113-172〕、主の日〔同 202-207〕、その他、適宜賛美歌を選択。賛美の後、司式者と会衆との挨拶が交わされてもよい。

司式者 主が皆さんと共にられますように。

会衆 主があなたと共にられますように。

主日礼拝式 A

《神の招き》

前奏

(着席)

奏樂者による前奏が礼拝の開始を告げる。会衆は心を静めて礼拝に備える。奏樂曲選択にあたっては、当日の教会暦上の位置や聖書朗読箇所などを十分考慮する。

招詞

(着席)

司式者が告げる主の招きの言葉を聞く。〔讚美歌 21〕93-111に招詞の例がある。以下の司式は牧師または、教会役員などの信徒が十分な準備をもって行う。

主に向かって喜び歌おう。

赦しの言葉

(起立)

罪の赦しを告げる言葉が司式者によって語られる。祈祷文参照。

司式者

全能の神、わたしたちの父は、心から悔い改め、まことの信仰をもつて主に立ち帰るすべての人の罪を赦すと約束されました。主があなたがたを憐れみ、すべての罪から清め、永遠の命を受け継ぐ者としてくださいますように。

一同

アーメン。

憐れみの賛歌(キリエ)

(起立)

主に呼びかけて、憐れみを願う。歌う場合は、『讚美歌21』30〜35、134の各節などがある。

司式者

主よ、憐れんでください。

罪の告白

(起立)

へりくだった心で神に向かうよう罪を告白する。懺悔の祈り、または悔い改めの詩編の交読などがなされる。祈祷文参照。

司式者

全能の神に罪を告白しましょう。

一同(または司式者)

わたしたちの主イエス・キリストの父、万物の造り主、すべての人の裁き主である全能の父、わたしたちは思いと言葉と行いによって罪を犯しました。深く悲しんで懺悔いたします。どうか、御子イエス・キリストのゆえに、すべての罪をお赦しください。これからのち、新しい人として主に仕えて、御名の栄光をあらわすことができますように。主イエス・キリストの御名によって(祈ります)。

一同

アーメン。

司式者

主なる神よ、わたしたちの心を整えて、御言葉を受け入れるにふさわしい者としてください。御言葉以外のいかなる声にも惑わされず、これを聞いて、御心に従うことができますように。主イエス・キリストの御名によって（祈ります）。

一同

アーメン。

聖書朗読

(着席)

聖書朗読によって神の語りかけを聞く。旧約の後に「交読詩篇」や応答唱（「讚美歌21」45～49）や詩編歌（同113～172）、使徒書と福音書の間ハレルヤ（同39）を入れることもできる。ハレルヤと福音書の朗読では一同起立するのよい。朗読は司式者か朗読奉仕者が十分な準備をもって行う。聖書個所の選択のためには「毎週の糧」（日本キリスト教団出版局）の主日日課が参考になる。そこにはまた主日ごとの詩編もあげられている。

旧約書

会衆

キリストよ、憐れんでください。

司式者

主よ、憐れんでください。

頌栄（グロリア）

(起立)

神の愛と恵みを覚えて、神に栄光を帰す。「讚美歌21」24～29。なお、十戒、その他の「主の戒め」を用いる場合は頌栄の後に行う。「讚美歌21」93～3参照。また、平和の挨拶（下記）をこので行うこともできる。

《神の言葉》

祈禱（聖霊の照らしを求める祈り）

(着席)

御言葉を正しく受けとめることができるように、聖霊の導きを求めて祈る。祈禱文参照。

祈 禱

(着席)

一項目設けたが、これは礼拝式の一要素というよりも説教に付加的なものである。説教者が自由祈禱をするか、説教の結びとして、次のような神をほめたたえる言葉を用いる。

説教者

主なる神よ、御言葉を与えてくださったことを感謝いたします。「賛美、栄光、知恵、感謝、誉れ、力、威力が、世々限りなくわたしたちの神にありますように」。

(黙示録 7・12)

一 同

(その他、ローマ 11・33、36、エフェソ 3・20～21、I テモテ 1・17、6・15～16、I ペトロ 5・10～11、黙示録 1・5b～6 などから適宜用いる)
アーメン。

賛 美

(起立)

御言葉の部を締めくくる賛美。当日の聖書朗読と説教の内容にふさわしい賛美歌が

(交読詩編、詩編歌または応答唱など)

使徒書

(ハレルヤ)

福音書

賛 美

(起立)

説教に先立って神を賛美する。神のことは・聖書(讃美歌 21・50～60)、聖書の歌(同 104～201)、教会暦(同 223～364)、行事暦(同 365～389)、その他、適宜賛美歌を選択。聖書朗読の中で詩編歌やハレルヤが用いられた場合などには、この賛美は省略してもよい。

説 教

(着席)

朗読された聖書の言葉が解き明かされる。通常牧師または伝道師が十分な準備をもって行う。

必要とする人々のため。祈禱文参照。

司式者

心を合わせてとりなしの祈りをしましょう。

父なる神よ、あなたは祈りに応えて恵みを与えてくださいます。どうか、今わたしたちがささげる祈りをお聞きください。

全世界のため、すべての国民とその政府のために祈ります。

主よ、世界のすべてのところに、自由と平和をもたらしてください。

また、政治に携わる人々に貧困や対立を克服する知恵と力をお与えくださいように。

世界に広がるすべての教会のために祈ります。

主よ、教会がその聖霊の賜物を再び燃えたたせ、その信仰を新たにし、

歌われる。

《感謝の応答》

信仰告白

(起立)

聖書朗読と説教を通して聞いた神の言葉に共鳴して、教会の信仰をもって応答することができる公同的な信条(使徒信条、ニカイア信条)を用いる(『讃美歌21』93-4)。

(※洗礼、信仰告白「堅信札」、その他「教会の営み」に関する式はここで行う)

祈 禱 (とりなしの祈り)

(着席)

教会とすべての人々のために神の恵みを求める。これは、キリスト者の大切な務めである(「イテモテ2・1-7」)。世界に広がる神の教会のため、世界と我が国のため、為政者たちのため、地域社会のため、苦難の中にある人々のため、その他、助けを

さる大きな愛に、気が付くことができますように。

この地域の学校や教育機関のために祈ります。

主よ、子供たちや若者が、そこにおいてよい学びと訓練を受け、この時代の混迷に対処するために、また将来の務めに備えるために、十分な力を身につけることができますように。

苦しんでいる人々のために祈ります。

主よ、病氣の人、試練の中にある人、悩んでいる人、悲しむ人を、思い起こします。どうか、今これらの人々が必要としている助けをお与えください。また、死の時を迎えようとしている人々が、恐れることなく、平安のうちにみもとに行くことができますように。

今も生きておられて、とりなしてくださる方、主イエス・キリストの御名によって（祈ります）。

その一致と交わりを深めることができますように。

教会員のために祈ります。

主よ、わたしたちすべてを従順な者とし、御言葉と聖餐によって豊かに養い、あなたを証しする生活に励む者としてくださいますように。

今日ここに出席できなかった友のために祈ります。

主よ、病氣やおとろえ、仕事や妨げなどによって、ここに来ることができなかった人々がおります。どうか、キリストが共にいまして、その人々にいやしと励ましと導きを与えてくださいますように。

身近な人々のために祈ります。

主よ、わたしたちの家族や隣人、学校や職場の仲間を覚えます。わたしたちとの日々の交わりの中で、御子イエス・キリストが注いでくだ

会 衆 キリストの平和が、あなたと共にありますように。

会衆は平和と和解のしるしとして、握手やお辞儀によって、挨拶を交わす。

(※聖餐が行われない場合は、以下、奉献「献金」、献金後の感謝の祈り「祈祷文参照」、【主の祈り】の後、《派遣》の部へと進む)

聖 餐

感謝の応答の頂点として、「これを行いなさい」とのキリストの制定の言葉に従って、聖餐が行われる。その場合、以下の司式は正教師が行う。

奉 献

(着席)

自分の体を神に献げることのしるしとして献金が献げられる。また、パンとぶどう酒が聖卓に用意される。すでに聖卓に置かれているなら覆いを取り除かれる。

一 同 アーメン。

とりなしの祈りの後、または祈りの中の適当な位置で、会衆による沈黙の祈りを設けてもよい。

平和の挨拶

(起立)

司式者による平和を告げる言葉の後、会衆は互いに挨拶を交わし、相互の交わりと和解を確認する。聖餐が行われる場合は、平和の挨拶は【主の祈り】の後、または随餐後になされてもよい。

司式者

平和の挨拶を交わしましょう。

「キリストの平和があなたがたの心を支配するようにしなさい。この平和にあずからせるために、あなたがたは招かれて一つの体とされたのです」。

(コロサイ 3:15)

キリストの平和があなたがた一同と共にありますように。

兄弟姉妹、今から神の民の祝宴が開かれます。
主は言われました。

やがて人々は東から西から、北から南から来て、
神の国で共に食卓に着く。

(ルカ 13・29)

また、福音書は伝えています。

復活の主は弟子たちと食事の席に着いたとき、
パンを取り、祝福してそれを割き、お渡しになった。
すると、弟子たちの目が開かれ、それがイエスだと分かった。(ルカ 24・30、31)

今から、主の食卓が開かれます。

主は信じる者たちを招かれ、

御自分が用意された祝宴にあずからせてくださいます。

牧師 感謝の献げ物をしましょう。

献げ物が集められる。その間、聖歌隊の賛美や適切なオルガン奏楽がなされてもよい。集められたら、感謝の祈り(祈祷文参照)、あるいは適当な賛美歌を歌う。「讃美歌21」64、65-1、65-2など。さらに次のようにすることもできる。

牧師 天と地にあるすべてのものはあなたのもの。

(歴代上 29・11)

会衆 すべてのあなたはからいたいただいたもの、わたしたちは御手から受け取って、差し出したにすぎません。

(歴代上 29・14)

一同 アーメン。

主の食卓への招き

(着席)

牧師は聖卓の前に立ち、会衆を聖餐に招く言葉を語る。

見よ、わたしは戸口に立って、たたいている。
だれかわたしの声を聞いて戸を開ける者があれば、
わたしは中に入ってその者と共に食事をし、
彼もまた、わたしと共に食事をするであろう。

(黙示録 3・20)

感謝聖別祷

(起立)

会衆は司式者が唱える感謝聖別祷に参加するよう招かれる。感謝聖別祷はキリスト
教信仰の全体を祈りのかたちで言い表したものである。教会の信仰を要約し、それ
を祈りにおいて宣べ伝えることは古来教職者の最も重要な務めであった。

〈心を高くあげよ スルスム・コルダ〉

牧師 主が皆さんと共におられますように。
会衆 主があなたと共におられますように。

2

主は言われました。

はつきり言っておく。人の子の肉を食べ、その血を飲まなければ、
あなたたちの内に命はない。
わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者は、永遠の命を得、
わたしはその人を終わりの日に復活させる。
わたしの肉はまことの食べ物、わたしの血はまことの飲み物だからである。
わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者は、
いつもわたしの内におり、わたしもまたいつもその人の内にいる。

(ヨハネ 6・53-56)

主は言われました。

し、あなたに仕え、全被造物と平和のうちに生きるために、この世界に住まわせられました。わたしたちがあなたに逆らい、信頼と服従を拒んだ時にも、あなたはわたしたちをお見捨てにならず、御自分のものと呼んでくださいました。あなたはわたしたちを御自分の道に立ち帰らせるために、預言者たちをお遣わしになりました。そして、あなたは時が満ちるに及んで、大いなる愛によって、その独り子を世に遣わしてくださいました。(特別叙唱がここに付け加えられてもよい。祈祷文参照)

それゆえに、わたしたちは力ある神でいますあなたをあがめ、天の全会衆と共にあなたの御名をとこしえにほめたたえます。

〈聖なるかな サンクトウス〉

イザヤ6・3、黙示録4・8、マタイ21・9に基づく。『讚美歌21』83。ホサナは「救いたまえ」の意。転じて歓呼の言葉となった。

牧師 心を高くあげなさい。
会衆 主に向かって高くあげます。
牧師 神である主に感謝をささげましょう。
会衆 それはふさわしい大切な務めです。

(ルツ2・4、ルカ1・28)

〈叙唱〉

感謝の祈りの始まりの部分。旧約聖書に基づく創造と贖いにまで遡る。叙唱または序唱 (Preface) は、「序詞」の意味のほかに入前での「朗読」の意味もあった。

牧師 聖なる父、とこしえにいます全能の神、いどこにあっても、主キリストによって賛美と感謝をささげること、まことにふさわしい大切な務めです。世界の創造者、また統治者である神よ、あなたはその知恵によって万物を造り、その御力をもって万物を保っておられます。また、あなたは御自分にかたどってわたしたちをつくり、あなたを愛

全世界の罪をその身に負われました。また、聖餐を制定され、主が再び来られる日まで、主の死を記念するようにとお命じになりました。

主イエスは、引き渡される夜、パンを取り、感謝の祈りをささげてそれを割き、そして言われました。(牧師はパンを高く挙げて会衆に示す)「これは、あなたがたのためのわたしの体である。わたしの記念としてこれを行いなさい」。

また、食事の後で、杯も同じようにして、言われました。(牧師は杯を高く挙げて会衆に示す)「この杯は、わたしの血によって立てられる新しい契約である。飲む度に、わたしの記念としてこれを行いなさい」。

わたしたちは、御子イエス・キリストの苦しみと死、復活と昇天とを記念し、また御子が再び来たりたもう日を待ち望みつ、あなたの大きな恵みを感謝いたします。

同

聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、
万軍の神である主、

主の栄光は天地に満つ。

いと高きところにホサナ。

主の御名によって来られる方に祝福があるように。

いと高きところにホサナ。

〈感謝の祈り〉

キリストの救いの御業に対する感謝。受肉から再臨までを視野に入れた祈り。

牧師

全能の父なる神、あなたは独り子イエス・キリストを世に遣わされ、憐れみ深い御心を明らかにしてくださいました。キリストはマリアから生まれて肉体を取り、すべての点でわたしたちと同じになられました。そして、ひとたびその身を献げて、まったく傷のない犠牲となり、

牧師

神よ、わたしたちは今、天と地にあるすべての信仰者との交わりの中で祈ります。あなたの愛と救いの御計画を、わたしたちの上に、そしてすべての人々の上に、成就してください。わたしたちの主イエス・キリストの御名によって祈ります。キリストによって、キリストと共に、またキリストの内に、聖霊の交わりの中で、すべての誉れと栄光が、代々限りなく全能の父でいます、あなたにありますように。

一同

アーメン。

陪餐

〈主の祈り〉

陪餐準備として『主の祈り』が唱えられる。口語訳を用いる場合は、『讃美歌21』93-5などを参照。

〈聖霊の働きを求める祈り エピクレシス〉

聖餐を実りあるものにする聖霊の働きを祈願する。以上のように、感謝聖別祷は三位一体論的構造をもっている。

牧師

憐れみ深い父、わたしたちの祈りを聞き、このパンとぶどう酒を受け入れ、御言葉と聖霊によって聖なるものとしてください。そして、これによって、御子イエス・キリストの尊い体と血にあずかせてください。そして、これにあずかる者が、みなキリストと一つ体となり、永遠の命を受け継ぐことができますように。

前出のとりの祈りがここに来てよい。

〈頌栄〉

三位一体論的な頌栄。アーメンで結ばれる。

〈パン割き〉

牧師 パンは一つだから、わたしたちは大勢でも一つの体です。
会衆 皆が一つのパンを分けて食べるからです。

牧師
会衆

(牧師は会衆に見えるようにパンを取ってそれを割き、次のように言う)
わたしたちが割くパンは、キリストの体にあずかることではないか。
アーメン。

牧師
会衆

(牧師は会衆に見えるように杯を手に取り、次のように言う)
わたしたちが神を賛美する賛美の杯は、キリストの血にあずかること
ではないか。
アーメン。
(Iコリント10・16～17)

司式者
一同

救い主イエス・キリストの教えに従い、主の祈りを唱えましょう。
天にまします我らの父よ、
ねがわくはみ名をあがめさせたまえ。
み国を来らせたまえ。
みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を 我らがゆるすごとく、
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、
悪より救い出したまえ。
国とちからと栄えとは
限りなくなんじのものなればなり。
アーメン。

(パンを配るとき)

牧師

これは、あなたがたのために与えられた主イエス・キリストの体です。

(杯を配るとき)

牧師

これは、あなたがたのために流された主イエス・キリストの血潮です。

〈陪餐後の感謝の祈り〉

聖餐にあずかったことを感謝し、信仰生活の聖化を求めて祈る。一同で祈ってもよい。
一同で折る場合は起立する。

牧師

とこしえにいます全能の神よ、わたしたちを御子イエス・キリストの尊い体と血によって養ってくださったことを感謝いたします。あなたは、これによってわたしたちに対する愛と恵みを示し、わたしたちが御子の体の肢であること、御国の世嗣であることを確かにしてください。

〈神の小羊 アニユス・デイ〉

続いて「神の小羊」(世の罪を取り除く神の小羊)を一同で唱える。または歌ってもよい。『讃美歌21』86、87。

一同

世の罪を取り除く神の小羊、憐れんでください。

世の罪を取り除く神の小羊、憐れんでください。

世の罪を取り除く神の小羊、平安をお与えください。

(ヨハネ1:29、黙示録5:6。イザヤ53:7も参照)

〈分餐〉

(会衆席に配餐される場合は着席)
会衆が聖卓を囲んで順次陪餐する。あるいは配餐者の前に進み出て陪餐する。あるいは会衆席にパンと杯が配餐される。陪餐の間は沈黙、オルガンの奏楽、あるいは一人または複数によって賛美歌が歌われてもよい。

祝福

(起立)

など。

牧師は会衆を祝福する。『讃美歌21』93-7参照。会衆は世に派遣されて証しの務めを果たす。その際、派遣の言葉を伴うことが適切である。『讃美歌21』93-6参照。派遣の言葉と祝福の言葉の順序は逆にしてもよい。

牧師

平和のうちに、この世へと出て行きなさい。主なる神に仕え、隣人を愛し、主なる神を愛し、隣人に仕えなさい。

主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、あなたがた一同と共にあるように。アーメン。

(Ⅱコリント13・13)

後奏

(着席)

《派遣》

いました。今、イエス・キリストを通して、自分の体を生きた聖なる供え物として献げます。どうか、聖霊を注いでわたしたちをこの世に遣わし、御心に適うことを行わせてください。主イエス・キリストの御名によって(祈ります)。アーメン。

報告

(着席)

司式者または適当な係により、教会の活動や教会員の消息などにつき報告がなされる。これは礼拝後の交わりと奉仕の前提となる。時間のかかる報告や新来者の紹介などは後奏の後にしてもよい。

賛美

(起立)

主日礼拝を終了するにあたり、賛美歌が歌われる。祝福との関連で、派遣をテーマにしたものがよい。『讃美歌21』88-92、99(三節)、180、519(三、四節)、564(三節)

退堂（奏楽）

この間、会衆は沈黙のうちに派遣の祝福を受けとめる。

奏楽の中、牧師・伝道師その他が中央通路から退堂する。奏楽が終わったら、会衆も順次退堂する。条件が整わない場合は、このかぎりではない。

旧約書 詩篇 9 0 編 10 節

私たちの齡は七十年
健やかであっても八十年
誇れるものは労苦と災い
瞬く間に時は過ぎ去り
私たちは 飛び去る

使徒書 フィリピの信徒への手紙 3 章 10 節

私は、キリストとその復活の力を知りたい。

福音書 ルカ福音書 1 2 章 48 節

全て多く与えられた者は
多く求められ
多く任された者は
更に多く要求される。

使徒信条

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。

我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。

主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤより生まれ、

ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、

死にて葬られ、陰府にくだり、三日目に死人の内よりよみがえり、

天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり。

かしこよりきたりて生ける者と死にたる者とを審きたまわん。

我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、

からだのよみがえり、とこしえの命を信ず。

アーメン

